

環境対策課

廃棄物処理対策事業費	・ ・ ・ ・ ・	119
衛生環境研究所費	・ ・ ・ ・ ・	123
環境保全事業費	・ ・ ・ ・ ・	124

事業名	令和5年度 当初予算額	令和5年度 最終予算額	令和5年度 当初予算額	左の財源内訳		
				国庫支出金	特定財源	一般財源
廃棄物処理対策事業費	843,716	1,366,350	1,472,540	93	(手) 20,715 (諸) 109 (債) 1,008,000	443,623
I 一般廃棄物処理対策事業費（298千円（国）93千円（-）205千円） 1 目的 市町村（廃棄物関係一部事務組合を含む）における一般廃棄物処理事業の適正な実施を確保するため、施設整備や法制度面から指導・助言を行う。 2 内容 （1）事務費等 II 産業廃棄物等不法投棄防止対策事業費（19,750千円（県）16,042千円（諸）82千円（-）3,626千円） 1 目的 産業廃棄物の不法投棄等の不適正処理の未然防止、早期発見に努めるなど適正処理に係る指導を行う。 また、各福祉保健所に廃棄物監視員（会計年度任用職員）を配置し、不法投棄等のパトロールを実施するとともに、産業廃棄物等連絡協議会による監視パトロールを福祉保健所と連携して実施する。 2 内容 （1）不法投棄原状回復支援金返納金（101千円（-）101千円） 平成14年発生の硫酸ピッチ不法投棄の処理に係る出えん金の返還（行政代執行費用への支援金の返還） 返 還 先：公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団 （2）事務費等（19,649千円（県）16,042千円（諸）82千円（-）3,525千円） III 産業廃棄物適正処理対策事業費（5,260千円（県）2,428千円（諸）14千円（-）2,818千円） 1 目的 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の排出事業者責任の明確化、委託基準、処理基準の厳守の指導啓発、排出事業者等を対象とした講習会、立入検査の実施、県民への広報活動、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正処理指導等を行う。 2 内容 （1）産業廃棄物適正処理啓発事業委託（600千円（県）600千円） 産業廃棄物の適正処理を推進するための講習会の開催を委託する。 委 託 先：産業廃棄物の適正処理の普及、指導が可能な見識を有する事業者、団体等 契約方法：随意契約 （2）事務費等（4,660千円（県）1,828千円（諸）14千円（-）2,818千円） 3 令和5年度に実施した主な事業 許可事業場への立入検査 7 事業場 産業廃棄物適正処理啓発講習会 138 名（安芸、須崎、四万十市）（参考：高知市 129 名） 産業廃棄物処理業新規許可 87 件 産業廃棄物処理業更新許可 233 件 IV 自動車リサイクル適正処理推進事業費（279千円（県）279千円） 1 目的 「使用済自動車の再資源化等に関する法律」による使用済自動車のリサイクル、適正処理を推進するため、事業者、県民に対し適正な処理のための指導・啓発を行う。						

2 内容

- (1) 放置自動車適正処理推進事業費補助金 (60 千円 (〒)60 千円)
放置自動車を撤去するために市町村が実施する事業に対し補助する。
補助先：市町村及び一部事務組合
補助率：1/2 以内 (上限 12 千円/台)

- (2) 事務費等 (219 千円 (〒)219 千円)

3 令和 5 年度に実施した主な事業

自動車リサイクル業登録・許可 18 件

V 災害廃棄物処理対策事業費 (9,389 千円 (-)9,389 千円)

1 目的

県内 6 ブロックの災害廃棄物処理広域ブロック協議会において、ブロック毎に広域処理体制の構築などを検討するとともに、各ブロックの幹事市及び県による幹事会において、ブロック間の情報共有やブロックを越えた処理方策などについて検討等を行い、県全体における災害廃棄物の処理体制の構築に向けた取組を進める。

2 内容

- (1) 災害廃棄物処理対策事業委託 (8,530 千円 (-)8,530 千円)
災害廃棄物処理広域ブロック協議会及び同幹事会の開催支援及び市町村職員等を対象とした訓練の企画・運営を委託する。
委託先：未定
契約方法：随意契約 (プロポーザル方式)

- (2) 事務費等 (859 千円 (-)859 千円)

3 令和 5 年度に実施した主な事業

- (1) 災害廃棄物処理広域ブロック協議会及び同幹事会の開催
(協議会 3 回※うち実動訓練分 1 回、幹事会 1 回開催)
- (2) 災害廃棄物対策に関する講演会や協定締結先との連携連絡会等の開催
- ・災害廃棄物の処理等に関する応援協定締結団体・企業 (7 者) と市町村等との連携連絡会を開催
 - ・協定締結団体の (一社) 日本補償コンサルタント復興支援協会及び日野興業株式会社から講師を招いて、「災害時における公費解体及びトイレ問題に関する研修会」を開催
 - ・災害廃棄物処理を経験した行政実務担当者などを講師として招いて「先進地事例に学ぶ講演会」を開催
 - ・四国内外における広域連携の検討 (災害廃棄物対策四国ブロック協議会等 (環境省) への参加)

VI 環境美化推進事業費 (1,944 千円 (-)944 千円 (〒)1,000 千円)

1 目的

県土の環境美化を推進するため、市町村やボランティア団体、事業所等と連携・協働して、放置廃棄物の撤去や啓発活動を実施する。

2 内容

- (1) 廃棄物緊急処理委託 (1,000 千円 (〒)1,000 千円)
不法投棄廃棄物の撤去を委託する。
委託先：一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬業者及び処分業者
契約方法：随意契約
- (2) 新聞広告制作委託 (17 千円 (-)17 千円)
美化パートナー協定締結制度広告の作成委託
委託先：広告代理店
契約方法：随意契約

(3) 事務費等 (927 千円 (-)927 千円)

3 令和5年度に実施した主な事業

県民一斉美化活動月間 ポスター・電車及びバスの車内広告・のぼり旗での啓発
美化活動の実施 県職員・美化活動協定締結団体・企業による実施(9ヶ所)、
市町村・ボランティアによる実施(6市町村、7ヶ所)

ボランティア登録制度 258団体、1,686名
美化活動協定締結 23企業・団体
廃棄物緊急処理委託 2件

VII マニフェスト集計事業費 (966 千円 (〒)966 千円)

1 目的

産業廃棄物の処理状況を把握するため、マニフェスト状況報告書を活用し、品目別、業種別の県内外の移動量や処理内容に関する基礎資料を作成する。

2 内容

(1) 産業廃棄物管理票集計業務委託

産業廃棄物管理票交付等状況報告書の数値等を集計し、品目別・業種別の排出量や県外への移動量、マニフェスト交付枚数等をデータ化する作業を委託する。

委 託 先：産業廃棄物排出事業者・最終処分業者等の情報に精通しており、マニフェスト制度の普及促進を実施している事業者、団体

契約方法：随意契約

VIII 新たな管理型最終処分場設置推進事業費 (1,434,654千円 (償)1,008,000千円 (諸)13千円 (-)426,641千円)

1 目的

新たな管理型産業廃棄物最終処分場の令和9年度の供用開始を目指して、施設本体工事及び進入道路整備工事等を着実に推進する。

併せて、令和2年12月に佐川町と締結した「協定書」に基づき、長竹川の増水対策(河川課所管予算)などの周辺安全対策の取組を進めるとともに、佐川町が実施する周辺安全対策や地域振興策の取組に対して支援を行う。

2 内容

(1) 土木システム保守管理委託 (694千円 (-)694千円)

委託内容：土木行政総合システム改訂等

委託先：システム事業者

契約方法：随意契約

(2) 上水道整備支援補助金 (1,816千円 (-)1,816千円)

新処分場の整備に係る周辺安全対策として、佐川町加茂地区において、現在、井戸水を利用している世帯の上水道への切り替えを支援することにより、地域住民の不安解消を図る。

補助先：佐川町

補助率：定額補助

補助対象経費：加茂地区の住民が給水装置を設置するために要する経費

(3) 新たな管理型最終処分場周辺安全対策交付金 (26,730千円 (-)26,730千円)

新処分場の整備に係る周辺安全対策として、佐川町が管理する長竹川流域での治水対策事業に要する経費を交付する。

交 付 先：佐川町

交付期間：新処分場の工事着手から概ね10年間

(4) 地域振興対策交付金 (366,083千円 (-)366,083千円)

新処分場の円滑な整備推進を図るため、佐川町が実施する地域振興策取組に要するの経費を交付する。

交 付 先：佐川町

交付期間：新処分場の工事着手から概ね10年間

(5) 新たな管理型最終処分場整備事業費負担金(954,926千円 (償)948,000千円 (-)6,926千円)

(公財)エコサイクル高知が新処分場を整備するにあたり、必要な費用を負担する。

負担先：(公財)エコサイクル高知

負担期間：令和3年度～令和9年度

(債務負担行為の現年化)

(6) 新たな管理型最終処分場整備資金貸付金(80,000千円 (償)60,000千円 (-)20,000千円)

新処分場の整備に要する資金を(公財)エコサイクル高知に貸し付ける。

貸付先：公益財団法人エコサイクル高知

貸付利率：無利子

償還期間：新処分場開業後から20年間

(7) 事務費等 (4,405千円 (-)4,392千円 (諸)13千円)

3 令和5年度に実施した主な事業

○上水道整備支援補助金

佐川町加茂地区において、現在、井戸水を利用している世帯等が上水道への切替えを行うために必要な経費を佐川町に対して補助

○新たな管理型最終処分場周辺安全対策交付金

佐川町が実施する長竹川流域の治水対策事業(町管理区間)に要する経費を交付

○地域振興対策交付金

佐川町が実施する地域振興策の取組(町道の整備・図書館の整備など)に要する経費を交付

○新たな管理型最終処分場整備事業費負担金

施設本体工事及び進入道路整備工事等を実施するため、整備・運営主体の(公財)エコサイクル高知に対して、負担金を支出

○新たな管理型最終処分場整備資金貸付金

(公財)エコサイクル高知に対して、施設整備に要する資金を貸付け

事業名	令和5年度 当初予算額	令和5年度 最終予算額	令和6年度 当初予算額	左の財源内訳		
				国庫支出金	特定財源	一般財源
衛生環境研究所費	38,051	39,138	33,219		(財) 2,154 (使) 1 (諸) 15	31,049
I 衛生環境研究所管理運営費（3,153千円（使）1千円（諸）15千円（-）3,137千円） 1 目的 衛生環境研究所の円滑な運営及び維持管理を推進する。 2 内容 (1) 事務費等 II 衛生環境研究所試験検査費（29,058千円（財）2,154千円（-）26,904千円） 1 目的 環境法令や条例に基づく環境監視や事業場立入調査等の分析業務、環境政策上の諸課題に対応するための情報収集、技術の習得、苦情相談や環境危機事案等に対する行政依頼調査への対応、環境情報啓発、技術支援等を推進する。 2 内容 (1) 機器管理委託（27,127千円（財）2,154千円（-）24,973千円） (2) 事務費等（1,931千円（-）1,931千円） 3 令和5年度に実施した主な事業 行政依頼調査（魚類斃死原因調査等） 1件 施設見学 1 中学12名 1 高校4名 III 調査研究事業費（1,008千円（-）1,008千円） 1 目的 安全で良好な環境を保全するため、様々な環境課題に関する調査研究を行う。 2 内容 (1) 災害時等緊急調査想定化学物質網羅的簡易迅速測定法開発事業 (331千円（-）331千円） 災害発生時には、周辺住民の生活支援・健康確保のため、化学物質の周辺環境への汚染や生活環境保全上の支障の有無を迅速に調査し、対策を講じる必要がある。 このため、緊急調査を想定した化学物質の簡易迅速測定法の開発に関する研究を進める。 国や各自自治体の環境研究所が共同研究事業として、災害時に流出等が懸念される化学物質の標準品を測定し、災害時に化学物質の迅速な鑑別に活用できる共有のデータベースを構築する。 (2) 公共用水域評価における補助指標の模索（677千円（-）677千円） 公共用水域の水質は、環境基準により評価を行っているが、県民に分かりやすく、時代の変化に応じた補助指標の模索を行う。 ①県内河川の河川マイクロプラスチックの状況把握、②次世代シーケンサーを用いて、河川に生息する生物の把握により、補助指標の模索を行う。 3 令和5年度に実施した主な事業 (1) 災害時等緊急調査想定化学物質網羅的簡易迅速測定法開発事業：2地点 (2) 公共用水域評価における補助指標の模索 ①県内河川の河川マイクロプラスチックの状況把握：1地点 ②次世代シーケンサーを用いた生物調査：3地点						

事業名	令和5年度 当初予算額	令和5年度 最終予算額	令和6年度 当初予算額	左の財源内訳		
				国庫支出金	特定財源	一般財源
環境保全事業費	119,067	118,143	86,199	3,534	(手) 126 (諸) 4,061 (債) 3,900	74,578
I 審議会開催経費（115千円（-）115千円） 1 目的 環境保全に関する重要事項を調査審議するため、高知県環境審議会の水環境部会を開催する。 2 内容 (1) 事務費 II 公害紛争処理指導費（267千円（-）267千円） 1 目的 公害審査会及び調定委員会等による公害紛争の迅速かつ円滑な解決を図る。 2 内容 (1) 事務費 III 環境保全対策事務費（5,571千円（-）1,671千円（債）3,900千円） 1 目的 環境行政の円滑な推進を図るため、環境省等の関係会議への出席、環境に関する技術研修への参加、県内における環境調査を行うための機動力の整備等を行う。 2 内容 (1) 事務費 IV 水質汚濁防止費（38,450千円（-）38,450千円） 1 目的 公共用水域及び地下水の常時監視、工場事業場の排水基準監視等を行い、水環境の保全を図る。 また、土壌汚染対策法に基づき、土壌環境の保全を図る。 2 内容 (1) 公共用水域水質調査委託等（32,338千円（-）32,338千円） ①公共用水域水質調査委託 30,459千円 河川、海域、湖沼の水質等分析調査 委託先：未定 契約方法：指名競争入札 ②事務費 1,879千円 (2) 地下水水質調査委託等（5,134千円（-）5,134千円） ①地下水水質調査委託 4,915千円 地下水水質調査 委託先：未定 契約方法：指名競争入札 ②事務費 219千円 (3) 特定事業場排水基準監視事務費（356千円（-）356千円） (4) 水質汚濁及び土壌汚染等事故対策費（622千円（-）622千円）						

3 令和5年度に実施した主な事業

公共用水域水質監視	河川61地点、湖沼2地点、海域42地点
地下水水質調査	29地点
特定事業場排水基準監視	52事業場
地下水モニタリング調査	南国市1カ所

V 大気保全等対策事業費（17,639千円（国）3,234千円（-）14,405千円）

1 目的

大気環境の常時監視や工場事業場、特定粉じん（アスベスト）排出等作業現場等への立入検査を行うとともに、酸性雨の状況を把握する。

また、騒音・振動・悪臭の防止について、関係法令及び条例に基づく現地調査や市町村への技術支援を行う。

2 内容

(1) 大気汚染防止事業事務費（12,579千円（-）12,579千円）

県内、7局の大気常時監視測定局の毎時測定結果収集等により、県内大気環境の把握を行う。

(2) 騒音・振動・悪臭防止事業（1,777千円（-）1,777千円）

①道路交通騒音調査委託 1,300千円

道路に面する地域における自動車交通騒音調査を委託する。

委託先：未定

契約方法：指名競争入札

②事務費等 477千円

(3) 酸性雨モニタリング事業（3,234千円（国）3,234千円）

① 委託料（環境省受託事業）885千円

ア 酸性雨測定機器保守点検等委託

a 測定機器定期点検委託（気象関係機器）698千円

気象関係機器の定期点検

委託先：株式会社環境機器

契約方法：随意契約

b 酸性雨測定所除草作業委託 187千円

測定所除草作業

委託先：檮原町森林組合

契約方法：随意契約

②事務費 2,349千円

3 令和5年度に実施した主な事業

大気汚染常時測定	7測定局
ばい煙発生施設排ガス基準監視	8施設（うち測定実施4施設）
道路交通騒音調査	2カ所
航空機騒音常時監視	（春・秋に4カ所で常時監視）
酸性雨モニタリング	環境省事業受託：檮原町

VI 監視測定機器整備費（11,055千円（-）6,994千円（諸）4,061千円）

1 目的

環境関係法令に基づく環境監視や排出規制などの各種基準を調査分析するための機器を整備する。

2 内容

(1) 備品更新整備（6,749千円（-）2,688千円（諸）4,061千円）

(2) 大気環境測定局整備（4,092千円（-）4,092千円）

(3) 事務費（214千円（-）214千円）

Ⅶ 化学物質対策費 (6,566千円 (国)300千円 (市)126千円 (-)6,140千円)

1 目的

環境関係法令で問題とされる化学物質について、法施行事務の執行や環境中、発生源において調査を行い、その実態を的確に把握し、県民の健康及び環境の保全を推進する。

2 内容

(1) 有害大気汚染物質監視事業事務費等 (3,352千円 (-)3,340千円 (市)12千円)

① 大気粉じん中六価クロム測定委託料 427千円

採取測定前処理及び六価クロム測定

委託先：未定

契約方法：随意契約

② 事務費 2,925千円

(2) PRTR法・フロン排出抑制法施行事務費 (102千円 (市)102千円)

(3) 化学物質環境汚染実態調査 (環境省受託事業) (300千円 (国)300千円)

(4) ダイオキシン類濃度測定調査委託等 (2,812千円 (-)2,812千円 (市)12千円)

① ダイオキシン類濃度測定調査委託 2,800千円

ダイオキシン類濃度測定調査

委託先：未定

契約方法：指名競争入札

② 事務費 12千円

3 令和5年度に実施した主な事業

有害大気汚染モニタリング測定 2地点、22物質

第一種フロン類充填回収業者登録 新規20件、更新34件

化学物質環境汚染実態調査 環境省事業受託：四万十川河口

ダイオキシン類濃度測定調査 環境監視13地点

Ⅷ 環境情報システム整備事業費 (3,602千円 (-)3,602千円)

1 目的

大気、水質、アスベスト等の環境情報を関係する機関と共有して運用するため、環境業務支援システムを適正に管理する。

2 内容

(1) 環境業務支援システム保守委託

環境業務支援システムの運用保守を委託する。

委託先：富士通Japan株式会社四国公共ビジネス部

契約方法：随意契約

Ⅸ リサイクル製品普及促進事業費 (2,544千円 (-)2,544千円)

1 目的

県内で排出される廃棄物を利用したリサイクル製品、環境に配慮した取組みを行い著しい成果をあげている事業所等を認定し、廃棄物の発生抑制・リサイクル産業の育成及び環境ビジネスの促進を図り、環境への負荷が少ない循環型社会の構築に寄与する。

2 内容

(1) 普及啓発事業委託 1,832千円

高知県リサイクル製品等認定企業取材及び記事作成

委託先：未定

契約方法：随意契約（プロポーザル方式）

(2) 事務費 712千円

3 令和5年度に実施した主な事業

リサイクル製品の新規認定4件

(1) 製品名 塊状クリンカアッシュ

品目名 木質バイオマス燃焼灰を利用した森林作業道用路盤材

事業者名 株式会社グリーン・エネルギー研究所 宿毛事業本部

(2) 製品名 木製かご枠

品目名 県産材を使用したかご枠

事業者名 溝渕林産興業株式会社

(3) 製品名 再生密粒度アスファルト混合物(13)

品目名 再生加熱アスファルト混合物

事業者名 がれき類(アスファルトがら)

(4) 製品名 土佐和紙壁紙6種(御前、利休、小判、元禄、夫婦、飛鳥)

品目名 割り箸をリサイクルしたエコ和紙壁紙

事業者名 株式会社モリシカ

X 環境行政技術職員の人材育成研修事業費(390千円(-)390千円)

1 目的

環境行政機関の技術職員の育成を図るため、法令、分析技術等に関する計画的かつ効果的な研修を行う。

2 内容

(1) 事務費